

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	盆踊りなど町内行事に招待され、ホームの行事などにも地域の人々を招いている。区長から子どもたちの安全に関し協力要請があり「こども110番」受託を検討している。ホームの新聞は回覧板によって全戸配布されており、ホームの近況報告、催事のお知らせに一役買っている。離施設者があった場合は電話で知らせてくれる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族代表、地域代表、市職員、地域包括支援センター職員、周辺住民、ホーム職員が出席し、原則として奇数月に開催している。昨年度の外部評価結果、今年度の外部評価受審報告もされている。会議で「ホームの新聞を地域に配布してはどうか」との意見がメンバーから出され実現した。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市からは中学生の職場体験申し込みがあり、年に数回引き受けている。市主催の市民祭には入居者の作品も出品しており、また、民生委員の高齢者部会では管理者自ら講師として講演を行った。市には入居者の散歩、外出、入浴の回数等詳細に報告されている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「ゆりかご通信」を毎月発行し、各担当者から入居者の近況報告をし、家族からの疑問、要望を聴取る欄も設けている。ほとんどの家族は来所の折に、常駐する管理者、担当職員等に直接要望される。家族会も偶数月に開催され、今年も既に2回は開催している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

先祖の代からの住民が多く、田畑と広い敷地を持った住居が入り混じった地域であり、県道からも離れているため閑静な地域に立地している。厚生労働省の助成事業である公文式学習法を採用し前頭前野への刺激により認知症の改善、生活の自律度向上を図っている。数名の職員が「学習療法士」の資格を取得し、希望者に対し週5回の学習を行っている。食事を大切にしており朝食、おやつは基本的に管理者の手作りである。咀嚼による嚥下機能強化・口腔機能強化を目指し、流動食・刻み食に頼らず、個々の能力にあわせ「嚥む力」を強化している。管理者は職員に常に「洞察力を持って」と徹底している。洞察して何をしてほしいかを的確にキャッチしすぐに実行に移せるようあらゆる場面で職員を指導している。それが相手を「思いやる」ことであり接遇の基本であると論じている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。